

保育現場の声

60年近く 私達のそばにいてくれた ピアノが、最近あちこち こわれ始めました。
たくさんの思い出があり、いつも、子ども達のために奏でていましたが、
とうとう、引退する時が来てしまいました。

ピアノの音は、聞く時々で、元気いっぱいだったり、誕生会などうれしい行事では、
わくわくさせてくれたり、卒園式の 思いで深い日には、しみりと・・・

感情と同じで 素晴らしいものです。

また、子ども達のパワーあふれる うれしさ、楽しさを表現し

手助けをしてくれる友達のような存在でもあります。

春 出会いと 別れの季節に

今までの ピアノと別れ、新しいピアノが来ました。

この「友達」を大切にしていきたいと 思います。

令和2年3月